

安全データシート

改定：：2022年4月25日

1. 製品及び会社情報

製品名：プロサルト液剤
会社名：株式会社理研グリーン
住所：東京都台東区東上野 4-8-1 TIXTOWER UENO 8 階
担当部門：開発部 企画開発課
電話番号：03-6802-8587
FAX 番号：03-6802-8587
緊急連絡先：同上
推奨用途及び使用上の制限：農薬

2. 危険有害性の要約

【化学品の G H S 分類】

急性毒性：区分 5 (経皮)
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性：区分 2B

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

【G H S ラベル要素】

注意喚起語：警告

危険有害性情報:

H320 眼刺激。
H313 皮膚に接触すると有害のおそれ。

注意書き:

P101 医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルを持っていくこと。
P102 子供の手の届かないところに置くこと。
P103 使用前にラベルをよく読むこと。

注意書き (安全対策) :

P264 取扱後は汚染された部位をよく洗うこと。

注意書き (応急措置) :

P312 気分が悪いときは医師に連絡すること。
P305 + P351 + P338

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。

次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

P337 + P311 眼の刺激が続く場合：医師に連絡すること。

GHS分類に関係しない又はGHSで扱われない他の危険有害性:

12章のPBT（難分解性、生物蓄積性、毒性を有する物質）とvPvB（難分解性と生物蓄積性が極めて高い物質）の評価結果を参照。

この項に、有効な情報の記載がある場合、それは、GHS分類の結果ではなく、物質もしくは混合物の総合的な危険性に寄与する可能性があるGHS分類以外の危険性に関するものである。

3. 組成及び成分情報

化学特性

化学物質・混合物の区別：混合物

農薬製品, 除草剤, 溶解濃縮物 (SL)

記載の物質に基づく調剤：イマザピルイソプロピルアミン塩

GHS分類に寄与する成分

イマザピル

含有量 (W/W): 20.4 %	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性: 区分 1
CAS番号: 81334-34-1	水生環境有害性 短期(急性): 区分 1
化審法: (5)-5704	水生環境有害性 長期(慢性): 区分 1
労働安全衛生法: 8-(1)-3814	M-ファクター急性: 10
	M-ファクター慢性: 10

ソルビタンモノドデカノエートポリオキシエチレン誘導体

含有量 (W/W): $\geq 10\%$ - $< 20\%$

CAS番号: 9005-64-5

化審法: (8)-55

労働安全衛生法: (8)-55

イソプロピルアミン

含有量 (W/W): $\geq 1\%$ - $< 7\%$	引火性液体: 区分 1
CAS番号: 75-31-0	急性毒性: 区分 3 (吸入-蒸気)
化審法: (2)-131	急性毒性: 区分 3 (経口)
労働安全衛生法: (2)-131	急性毒性: 区分 3 (経皮)
	皮膚腐食性/刺激性: 区分 1A

眼に対する重篤な損傷／眼刺激性: 区分 1
特定標的臓器毒性 (単回暴露) : 区分 3 (呼吸器系を刺激する)
水生環境有害性 短期(急性): 区分 3

4. 応急措置

[応急措置をする者の保護に必要な注意事項]:

汚れた衣服は取り替える。

[吸入した場合]:

安静にし、新鮮な空気のある場所に移動させ、医師の診察を受けること。

[皮膚に付着した場合]:

石鹸と水で完全に洗い流すこと。

[眼に入った場合]:

直ちにまぶたを開き流水で15分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

[飲み込んだ場合]:

直ちに口をすすぎ、200-300mlの水を飲み、医師の診察を受ける。

[医師に対する特別な注意事項]:

症状: 情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。(他の)症状や影響については現時点で知られていない。

処置: 症状に応じて処置(洗浄・機能回復)を講じる。特に解毒剤なし。

5. 火災時の措置

[適切な消火剤]:

噴霧水, 粉末, 二酸化炭素, 泡

[火災時の特有の危険有害性]:

一酸化炭素, 二酸化炭素, 窒素酸化物

火災の場合、前述の物質／物質グループが放出される可能性がある。

[消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置]:

自給式呼吸器および耐薬品性保護衣を着用のこと。

[追加情報]:

火災および/または爆発の場合に、ヒュームを吸入しないこと。火に暴露された容器は噴霧水で冷却した状態に保つこと。汚染された消火用水を別途回収すること。下水または廃水処理施設に流さないこと。汚染された消火廃水は法令に従って適切に処分する。

6. 漏出時の措置

[人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置]:

蒸気/スプレーを吸入しないこと。保護具を着用する。皮膚、眼、衣服への接触を避ける。

[環境に対する注意事項]:

土壤中に放出しないこと。排水溝等に流出させない。

[封じ込め及び浄化の方法及び機材]:

少量の場合: 吸着剤に吸収させ回収し処分する(例: 砂、おが屑、珪藻土)。

大量の場合: せき止める。ポンプで容器に回収する。

法令に従って吸着剤を廃棄すること。廃棄物を適切な容器に集めること。容器は、ラベルの貼付および密封が可能な容器とする。水および洗剤を用いて、汚染された床および物質を完全に浄化すること。環境法令を遵守すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い]

適切に保管し取り扱えば、特別な対策は必要なし。作業場の換気を十分に行う。使用時には飲食または喫煙をしないこと。休憩前とシフトの終わりに手や顔を洗うこと。

安全取扱注意事項:

注意事項は特になし。不燃性である。爆発性なし。

[保管]

食品、動物飼料から隔離する。

保管条件に関する追加情報: 熱から離して保管すること。直射日光を避ける。

保管安定性:

保管期間: 36 月

次の温度以上にならないように保護すること： 40 ° C

もし、物質/製品を指示温度以上に長期間保管すると製品特性が変化することがある。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

イソプロピルアミン, 75-31-0;

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 2 ppm (ACGIHTLV)

STEL (short term exposure limit : 短時間) 5 ppm (ACGIHTLV)

経皮吸収の危険性あり。(ACGIHTLV)

皮膚吸収の危険性

【保護具】

[呼吸用保護具]:

高濃度に対して、または長時間有効な適切な呼吸保護具： 有機、無機、無機酸及びアルカリ性化合物のガス/蒸気用複合フィルター(例：EN14387タイプABEK)

[手の保護具]:

長時間にわたる直接接触でも問題ない素材でできた耐薬品性保護手袋 (EN ISO 374-1) (保護指針6に準ずることが望ましい。EN ISO 374-1によると、透過時間は480分以上であること) : ニトリルゴム (0.4 mm) 、クロロプレンゴム (0.5 mm) 、ブチルゴム (0.7 mm) など。

[眼の保護具]:

サイドシールド付き安全眼鏡(フレームゴーグル) (例 EN 166)

[皮膚及び身体の保護具]:

作業および予想暴露量に基づいて、保護具を選択すること。前掛け、保護靴、耐薬品性保護衣等 (飛散の場合は、EN 14605に従い、粉塵の場合は、EN ISO 13982に従う。)

[一般的な安全及び衛生対策]:

最終消費者の手に渡る農薬を取り扱う際には、使用説明書の保護具に関する記述を適用すること。皮膚、眼、衣服への接触を避ける。上下一体型作業衣の着用が望ましい。作業服は、他の物と分けて保管すること。食物、飲料および動物用飼料から離して保管すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 淡黄色、透明
臭い	: アミン臭
臭いのしきい値	: 吸入による健康障害の可能性のために決められていない。
pH	: 約 6 - 8(約 25 ° C、不希釈の状態での測定)
融点	: 本品については試験していない。
沸点	: 約 100 ° C、情報は溶媒に適用される
引火点	: > 98.9 ° C
蒸発率	: 適用せず
可燃性 (固体/ガス)	: 適用せず
爆発下限界	: この製品に関する当社の経験と組成に関する知識の結果、この製品が適切に、また意図された用途に使用される限り、どのような危険性も考えられない。
爆発上限界	: この製品に関する当社の経験と組成に関する知識の結果、この製品が適切に、また意図された用途に使用される限り、どのような危険性も考えられない。
自然発火温度	: 水含有量に基づくと、製品は、引火しない。
熱分解	: 通常の手扱い条件下で危険分解物なし。
爆発危険有害事項	: 化学構造に基づき、爆発性の性質を示すものはない。
火災を引き起こす性質	: 構造的長に基づき、製品は酸化剤に分類されない。
蒸気圧	: 約 23.4 hPa(20 ° C) 情報は溶媒に適用される
密度	: 約 1.07 g/cm ³ (20 ° C)
相対ガス密度 (空気)	: 適用せず
水に対する溶解性	: 可溶
n - オクタノール/水分配係数 (log Pow)	: 適用せず
粘度	: 約 21 mPa.s(約 20 ° C)
その他の情報	: 必要に応じ、この章にその他の物理的、化学的パラメーターの情報が記載される。

10. 安定性及び反応性

[避けるべき条件]:

製品安全データシートの第7項の取り扱い及び保管上の注意を参照すること。

熱分解 : 通常の手扱い条件下で危険分解物なし。

[混触危険物質]:

強塩基, 強酸, 強酸化剤

[危険有害な分解生成物]:

指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

[危険分解物]:

通常のと扱い条件下で危険分解物なし。

11. 有害性情報

急性毒性

急性毒性の評価:

本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。短期間の皮膚接触後、低毒性を示す。単回の経口摂取であれば、実質上毒性はなし。吸入による毒性は実質上なし。

実験または計算によるデータ:

LD50 (半数致死量) ラット (経口)	: > 5,000 mg/kg
LC50 (半数致死濃度) ラット (吸入による)	: > 5.0 mg/14 h
LD50 (半数致死量) ウサギ (経皮)	: 2,148 mg/kg

刺激性

刺激性作用の評価:

本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。弱い眼刺激を起こすことがある。皮膚刺激性なし。

実験または計算によるデータ:

皮膚腐食性/刺激性 ウサギ:

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 ウサギ:

呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性の評価:

本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。皮膚感作の可能性に関する証拠はない。

実験または計算によるデータ:

Buehler法 モルモット:

生殖細胞変異原性

変異原性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。変異原性試験では遺伝毒性の可能性は認められなかった。

発がん性

発がん性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。各種の動物実験の結果は、発癌効果の兆候を示さなかった。

生殖毒性

生殖毒性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。動物実験の結果から、生殖能力低下は認められなかった。

発生毒性

催奇形性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。動物実験において、母体毒性を示さない濃度では生殖能力の低下は認められなかった。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）:

単回暴露評価:

利用できる情報に基づくと、単回ばく露後に予測される特定標的臓器毒性はない。

注意: 本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

反復投与毒性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報： イソプロピルアミン

反復投与毒性の評価:

反復投与後にみられる顕著な影響は局所の刺激である。

誤えん有害性

予測される吸入危険性はない。

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

その他該当する毒性情報

誤用により、健康を損なうおそれがある。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生生物に対する毒性の評価:

水生生物に対して急性の有害性はほとんどないと考えられる。

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報： イマザピル

魚類に対する毒性:

LC50（半数致死濃度）（96 h）> 100 mg/l, ニジマス（学名：Oncorhynchus mykiss）

記載物質に関する情報： イマザピル

水生無脊椎動物:

EC50 (48 h) > 100 mg/l, オオミジンコ（学名：Daphnia magna）

記載物質に関する情報： イマザピル

水生植物:

EC50 (7 日) 11.7 mg/l, Anabaena flos-aquae
無影響濃度 5.26 mg/l, Anabaena flos-aquae

移動性

環境区分間の輸送評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報： イマザピル

環境区分間の輸送評価:

水面から大気中に揮発しない。

土壌への暴露後、本製品は少量ずつ流出する。分解の程度によるが、多量の水により、土壌深部へと移行し得る。

残留性・分解性

生分解性及び除去率の評価（水中環境）:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報： イマザピル

生分解性及び除去率の評価（水中環境）:

容易に生分解性されない（OECD基準による）

生体蓄積性

生体蓄積性の可能性評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報： イマザピル

生体蓄積性の可能性評価:

生物体内に蓄積しない。

[追加情報]

その他の環境毒性情報:

前処理なしに河川等に流してはならない。

13. 廃棄上の注意

地方自治体の規則に従って、適切な焼却施設に依頼する。

[汚染された容器]:

使用済みの容器は出来る限り空にしてから製品と同様の方法で廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国際陸上輸送 :輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

海上輸送 Sea transport

IMDG IMDG

輸送規則では危険有害性物質に
分類されていない Not classified as a dangerous good
under transport regulations

航空輸送 Air transport

IATA/ICAO IATA/ICAO

輸送規則では危険有害性物質に
分類されていない Not classified as a dangerous good under
transport regulations

[追加情報]

国内輸送規制はSDSの15章を参照のこと。

15. 適用法令

農薬取締法 : 第22900号

消防法 : 非危険物

イソプロピルアミン

労働安全衛生法

通知対象物

イソプロピルアミン

労働安全衛生法

表示対象物

ソルビタンモノドデカノエートポリオキシエチレン誘導体

化審法

優先評価化学物質

通し番号 : 222

表示すべき危険有害性決定要素 : イマザピル

その他の規則

人と環境に対するリスクを避けるために、用途に関する指示を遵守すること。

16. その他の情報

【JIS Z 7252/7253 : 2019準拠】本SDSに記載されていない必要項目は、情報がないことを示す。

本安全データシートに含まれるデータは、当社の最新の知識及び経験に基づいて製品を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特長（製品規格）を説明するものではありません。また、当該製品が特定の目的に適した性能・特長を有しているか否かを判断するためのものでもありません。本製品の使用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重し現行の法律及び規則を遵守して下さい。